

1. 昔々、イエス様がお生まれになるそのまた昔、ダビデさんやモーセさんよりもず～っと昔のことです。ノアさんという人がおりました。ノアさんは神様を信じ、真面目に生きていた人でした。
2. しかし、当時のほかの人たちはというと、みんな悪いことを考える人ばかりでした。神様から心が離れ、みんな好き勝手な毎日を送っていました。

ノア「みんな、きちんと神様を信じて、ちゃんとした生活をしようよ！」

男性「バカだな、お前はっ！ 神なんているもんか。そんなもの信じて、真面目に生きてって、何もいいことなんてないぜ。そんなことより、面白おかしく生きた方が、ずっとずっと楽しいじゃないか」

女性「そうよそうよ、あんたみたいに生きてたって、人生つまらないじゃないの。ばっかみたい！」

こんな世の中で、ノアさんとその家族だけは、神様を信じて歩んでいたのです。そしてある時・・・

3. 神様はノアさんに告げて言われました。

「これから大雨が降ります。そして大洪水になるでしょう。だから、大きな船を造りなさい。やがて大きな船が完成したら、そこにあなたの家族、そして動物たちを乗せるのです。私は、罪深い人間を滅ぼします。でも、私のことを信じているあなたたちを救うのです。」

4. こうしてノアさんは、神様がおっしゃった通りに、大きな大きな箱船を作りました。もしかしたら、周りの人たちはバカにして笑ったかも知れないね。大雨が降るなんてこと、誰も信じなかつたらうね。でもノアさんは、神様がおっしゃったことだから、信じて、その通りにしたのです。
5. 完成した箱船には、神様がおっしゃった通り、色々な動物たちのオスとメスが乗りました。本当に色々な動物がいるねえ。ミッキーに似たネズミもいたかな？ ドラえもんに似ているネコもいたかなあ？
6. 動物たちがみんな乗り終わると、本当に雨が降り出し、大雨となり、大洪水となったのです。雨はいつまでもいつまでも降り続け、40日もの間、ひたすらに降り続けたのです。
7. やがて雨はやみ、箱船に乗ったノアさんとその家族、そして動物たちは助かりました。ノアさんはカラスや鳩を放って、もう水がなくなってきたかどうかを調べました。そしてある時、鳩がオリーブの若葉をくわえて戻ってきたのです。  
  
こうしてどんどん水はなくなっていき、地は乾き、ノアさんや動物たちはみんな外に出ることが出来たのです。神様がおっしゃったことは、全部本当でした。神様を信じてその通りにしたノアさんたちは、神様に感謝の祈りをしたのです。
8. すると神様は、空に大きな虹をかけてくださいました。今まで見たことのない、大きな、そして美しい虹です！ この虹は、神様が約束のしるしとして、かけてくださったものなんですよ。

9. 「わたしは雲の中に、わたしの虹を立てる。それはわたしと地との間の契約のしるしとなる。」 創世記9:13

今でも私たちは、雨上がりの空に虹を見ることがありますね。そんな時は、ぜひ思い出してください。その虹は、「もう二度と洪水で滅ぼすことはしないよ、私はあなたを愛しているよ」という、神様からの愛のメッセージ、そんな約束の虹なのですよ。

おしまい。